

令和6年度 外国語科 「英語研究」 シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科 文系 3 年A～D 組 選択者
教科書	Genius III（大修館書店）	副教材等	

1 学習の到達目標

聞くこと：予備知識があれば、ほぼ自然なスピードで話された、長めの対話や説明の概要・要点や話の展開・話し手の意図、詳細を捉えることができる。
読むこと：予備知識があれば、説明・評論・物語といった様々なジャンルのまとまった量の英文を読んで、文章の展開・書き手の意図、要点・概要・詳細を捉えることができる。
話すこと（やり取り）：社会的・広範囲な話題について、情報・考えを十分な補足説明つけて伝えたり、論理的に伝え合ったりしながら、やり取りを発展させることができる。
話すこと（発表）：社会的・広範囲な話題について、情報・考えを十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝えたりすることができる。
書くこと：社会的・広範囲の話題について、説明や意見などを根拠に基づいた十分な補足説明とともに論理的な文章構成で書くことができる。

2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO記述・重点目標)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (主な言語活動等)	評価項目の 範囲	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
						聞	読	取	発	書		
前期	4 5	「聞くこと」「読むこと」日常的・社会的な話題に関するある程度まとまった量の英語を視聴したり読んだりして概要や要点、必要な情報を捉えるができる。「話すこと（やりとり）」インタビューや話し合いの中で情報や考えを十分な補足説明と共に伝えたり、必要な説明を求めたりして会話を発展させることができる。「話すこと（スピーチ）」メモを活用するなどすれば情報や考えを十分な説明と共に効果的に伝えられる。「書くこと」社会的な話題について説明や意見などを根拠に基づいた十分な補足説明とともに論理的な文章構成で複数パラグラフ書くことができる。	-About me and our daily lives -Culture/history -Entrepreneurship/creativity -Current issues	Pair/Group talk, Listening/Reading comprehensions and discussions, Essay writing, Making presentations/speeches, Explaining customs and cultures	知	○	○	○	○	○	15	活動の観察 パフォーマンステスト（プレゼンテーション） 課題（活動の成果物を含む）
					思	○	○	○	○	○		
					態	○	○	○	○	○		
	第1回 回 考 査		第1回 考 査 (授業内)		知	○	○			○	6	筆記テスト(リスニング、記述中心)
					思	○	○			○		
					態							
	6 7 8 9	「聞くこと」「読むこと」日常的・社会的な話題に関するある程度まとまった量の英語を視聴したり読んだりして概要や要点、必要な情報を捉えるができる。「話すこと（やりとり）」インタビューや話し合いの中で情報や考えを十分な補足説明と共に伝えたり、必要な説明を求めたりして会話を発展させることができる。「話すこと（スピーチ）」メモを活用するなどすれば情報や考えを十分な説明と共に効果的に伝えられる。「書くこと」社会的な話題について説明や意見などを根拠に基づいた十分な補足説明とともに論理的な文章構成で複数パラグラフ書くことができる。	-About me and our daily lives -Culture/history -Entrepreneurship/creativity -Current issues	Pair/Group talk, Listening/Reading comprehensions and discussions, Essay writing, Making presentations/speeches, Explaining customs and cultures	知	○	○	○	○	○	15	活動の観察 パフォーマンステスト（スピーチ） 課題（活動の成果物を含む）
					思	○	○	○	○	○		
					態	○	○	○	○	○		
	第2回 回 考 査		第2回 考 査 (授業内)		知	○	○			○	6	筆記テスト(リスニング、記述中心)
					思	○	○			○		
					態							

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO記述・重点目標)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (主な言語活動等)	評価 の 観点	領域					評価 項目 の 回数	主な評価規準 (評価方法)
						聞	読	取	発	書		
後 期	10	「聞くこと」「読むこと」日常的・社会的な話題に関するある程度まとまった量の英語を視聴したり読んだりして概要や要点、必要な情報を捉えるができる。 「話すこと（やりとり）」インタビューや話し合いの中で情報や考えを十分な補足説明と共に伝えたり、必要な説明を求めたりして会話を発展させることができる。 「話すこと（スピーチ）」メモを活用するなどすれば情報や考えを十分な説明と共に効果的に伝えられる。 「書くこと」社会的な話題について説明や意見などを根拠に基づいた十分な補足説明とともに論理的な文章構成で複数パラグラフ書くことができる。	-About me and our daily lives -Culture/history -Entrepreneurship/creativity -Current issues	Pair/Group talk, Listening/Reading comprehensions and discussions, Essay writing, Making presentations/speeches, Explaining customs and cultures	知	○	○		○	○	15	活動の観察 パフォーマンステスト（ディスカッション、エッセーライティング） 課題（活動の成果物を含む）
	11				思	○	○	○	○	○		
	12				態	○	○	○	○	○		
	第3回 考 査	第3回考査(授業内)			知	○	○			○	6	筆記テスト(リスニング、記述中心)
		思	○	○			○					
		態										
	1	「聞くこと」日常的・社会的な話題に関するある程度まとまった量の英語を視聴したり読んだりして概要や要点、必要な情報を捉えるができる。 「話すこと（やりとり）」情報や考えを十分な補足説明と共に伝えたり、必要な説明を求めたりして会話を発展させることができる。	Reflection/Future plan	Pair/Group talk, Listening/Reading comprehensions and discussions, Explaining customs and cultures	知	○		○	○		9	活動の観察
					思	○		○	○			
					態	○		○	○			

3 評価の観点

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	ある程度の予備知識を与えられれば、自然に近いスピードで話された対話や説明の概要・要点や話し手の意図、必要な情報を目的に応じて捉えるための知識・技能を身につけている。	ある程度の予備知識を与えられれば、様々なジャンルのある程度の長さの英文を読んで、書き手の意図、要点・概要、必要な情報を目的に応じて捉えるための知識・技能を身につけている。	ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝え合ったりするための知識・技能を身につけている。	ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝えるための知識・技能を身につけている。	ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、説明や意見などを多様な語句や文を用い論理的な文章構成で複数パラグラフ書くための知識・技能を身につけている。
思考・判断・表現	予備知識を与えられれば、自然に近いスピードで話された対話や説明の概要・要点や話し手の意図、必要な情報を目的に応じて捉えている。	ある程度の予備知識を与えられれば、様々なジャンルのある程度の長さの英文を読んで、書き手の意図、要点・概要、必要な情報を目的に応じて捉えている。	ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝え合っている。	ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝えている。	ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、説明や意見などを多様な語句や文を用い論理的な文章構成で複数パラグラフ書いている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されていることを聞こうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれていることを読もうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝えようとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

4 評価の方法

定期テスト、パフォーマンステスト、活動・課題への取り組み（パフォーマンステスト以外のパフォーマンスの状況を含む）
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

卒業後に実際に大学・社会で英語を道具、手段として使っていくことを念頭に、主体的・自律的・積極的に活動に参加してください。 授業にはタブレットを持参してください。グーグル・クラスルームの定期的な確認をお願いします。
---